

(7) 校内研修の実施

キャリア教育の充実には、教職員の理解と指導力の向上が不可欠です。校内研修を計画的にすすめることにより、全教職員が協同してキャリア教育に取り組む校内体制が確立されます。

時 期	テ ー マ	方法・内容・目的	備 考
導入前	キャリア教育とは	キャリア教育の意義や導入の背景等を理解し、教職員全体の意識を高める。	講義形式
	キャリア教育の目標設定	自校の児童生徒のキャリア発達上の課題や身に付けさせたい力など、「キャリア教育の目標」を明らかにする。	グループ別研修
学期に 1回	キャリア教育の視点に 立った授業の創造	児童生徒の学習に取り組む姿や、教師の指導や支援等について評価し、教員の指導力の向上を図る。	公開授業 研究討議
年に 2回	キャリア発達を促すキャリア アカウンセリング	児童生徒のキャリア発達を促す教職員のカウンセリングマインドを培う。	小中合同の研修会 (講義や演習)
年に 1回	キャリア教育推進のための 学校・家庭・地域の効果的 な連携の在り方	それぞれの役割を協議し、自覚することで、キャリア教育に対する理解を促進する。	家庭や地域の方々 を対象とした講演 会と分科会
夏期 休業中	キャリア教育の視点でつな ぐ小中一貫教育の在り方	9年間を見通した指導の在り方について協議することで、小中学校の教職員の協働意識を高める。	小中合同の研修会 (ワークショップ)
3学期中	キャリア教育の評価と検証	アンケート調査等をもとに、児童生徒の成長や変容を分析し、次年度の推進内容の改善につなげる	アンケート実施 総括会議

キャリア教育推進のための共通理解のポイント

キャリア教育のために、新たに教育活動を生み出すのではなく、現在、各学校で実践している教育活動を、「キャリア教育の視点でとらえ直す」ということを意識しましょう。

今ある「宝」を大事にする